

鉄道事業法第 19 条の 4 に基づき、当社における安全への取り組みを報告します。

安全で安心な旅客輸送サービスの提供を最大の使命とし、安全管理規程に基づき、安全管理体制を構築し、安全確保に向けた様々な取り組みを行っています。

ごあいさつ

当社は平成 28 年 4 月に京阪ホールディングス株式会社と分離し、鉄道事業を専業とする会社として新たにスタートしました。そのような中、平成 27 年度より開始した京阪グループ中期経営計画「創生果敢」における経営基盤の強化施策の 1 つである「鉄道復権」に向けた間断なき活性化施策に取り組んでおり、中でも平成 29 年 8 月には京阪特急プレミアムカーの運行を開始いたしました。しかしながら、鉄道活性化の大前提となるのは「安全安心」であります。

そのために同計画に併せて策定した「安全安心中期計画」に基づき、ハード、ソフトの両面から安全安心の実現に資する様々な施策を実行しております。平成 27 年 12 月から深草駅～出町柳駅間で使用を開始しました多情報連続式 A T S システムは、ホームや踏切の非常ボタンなどとも連動させ、より安全性を向上させております。平成 29 年 2 月には、淀駅～深草駅間と宇治線に使用を拡大しており、引き続き京阪線全線導入に向け、工事を進めております。

また、駅や高架橋の耐震補強や車両改修などの保安度向上のための投資工事の実施と、「過去の重大事故の再発防止策の再確認」や「ヒヤリ・事故の芽報告」をはじめとした各種安全活動にも引き続き取り組んでまいりますほか、安全最優先の風土を組織に根付かせていく基盤は「人づくり」であるという考えに基づき、安全を支える人材の育成にもより一層注力してまいります。

平成 29 年度は京阪グループ中期経営計画「創生果敢」の最終年度であります。これまでの成長への取り組みを一層加速させる年にするためにも、開業以来、脈々と培ってきた安全安心の D N A をしっかり継承するだけでなく、一人ひとりが自ら考え、自ら行動する事でさらに磨きをかけ、京阪電車に対する信頼を今まで以上に磐石なものとするべく、全社一丸となって「果敢」にチャレンジしてまいります。



代表取締役社長 **中野 道夫**